

専門分野Ⅰ 基礎看護学 授業計画

授業科目及び時間数	基礎看護方法Ⅶ 2単位 45時間		
開講時期	1年次生 後期		
担当教員	芝口由美子・亀山美穂	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>本科目は、治療、検査、処置などの内部環境を調整する技術の意義を理解し、健康の充足・維持増進のために実施される診療の補助技術に必要な基本的知識と援助技術の方法を習得することがねらいである。</p> <p>到達目標は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染成立の条件、院内感染防止の基本を知り、看護師が感染防止のために実践する重要性を理解する。 2. 創傷とその治癒のメカニズムを知り、治癒のために必要な環境を理解する。 3. 検査について理解し、それぞれの検査時の看護を理解する。 4. 生体情報のモニタリングの意義と看護の役割を理解する。 5. 薬物の剤形と特徴を理解し、正しい与薬、薬剤の管理方法を理解する。 6. 薬剤投与の方法を理解し、援助の実際がわかる。 7. 注射の基礎知識を理解し、各注射法の援助の実際がわかる。 8. 輸血管理の基礎知識を理解し、援助の実際がわかる。 9. 吸入・吸引の目的と方法を理解し、その援助の実際を理解する。 10. 末梢循環促進ケアの目的と方法を理解し、その援助がわかる。 			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染防止の技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 感染防止の基礎知識 2) 感染予防策(スタンダードプリコーション) 3) 感染経路別予防策 4) 消毒・滅菌 5) 無菌操作 6) 感染性廃棄物の取り扱い 	講義(亀山)	
2回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 創傷管理技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 創傷管理の基礎知識 2) 創傷処置 	講義(亀山)	
3回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 無菌操作 2. 創傷処置 	演習(亀山)	
4回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 症状・生体機能管理技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 検体検査 2) 生体情報のモニタリング 	講義(亀山)	
5回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検査・処置の介助技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 生体検査 2) 穿刺の介助 	講義(亀山)	
6回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検査・処置の介助技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 検査を受ける患者の看護 	講義(亀山)	
7回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 静脈血採血 	演習(亀山)	
8回目	終了試験	亀山	
9回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 与薬の基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> 1) 与薬の意義と法律 ・薬物の吸収経路と体内動態 2) 薬物効果に影響する因子 	講義(芝口)	
10回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 誤薬防止と薬剤被爆の防止 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護師の役割 ・誤薬の起こりやすい状況と対策 2) 抗がん剤暴露の防止 	講義(芝口)	
11回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 与薬の種類と援助の実際 <ol style="list-style-type: none"> 1) 経口与薬 2) 吸入 3) 点眼、点鼻、点耳 4) 経皮与薬 5) 直腸内与薬 	講義 デモンストレーション(芝口)	

12 回目	1. 注射の基礎知識 1) 注射法の種類と特徴 2) 注射器と注射針 3) 注射の準備	講義 デモンストレーション (芝口)
13 回目	1. 注射の準備 1) 注射器と注射針の準備 2) 薬液の準備 3) プライミング	演習 (芝口)
14 回目	1. 注射の実施法 1) 皮内注射 2) 皮下注射 3) 筋肉内注射 4) 静脈内注射	講義 デモンストレーション (芝口)
15 回目	1. 注射の実施法 1) 点滴静脈内注射 2) 輸液速度の調整 3) 輸液ポンプ・シリンジポンプ	講義 デモンストレーション (芝口)
16 回目	1. 注射の実施法と与薬の援助 1) 皮下注射 2) 筋肉内注射 3) 静脈内注射 4) 直腸内与薬 5) 点滴静脈内注射 6) 輸液ポンプ・シリンジポンプ	演習 (芝口)
17 回目	1. 注射の実施法と与薬の援助 1) 皮下注射 2) 筋肉内注射 3) 静脈内注射 4) 直腸内与薬 5) 点滴静脈内注射 6) 輸液ポンプ・シリンジポンプ	演習 (芝口)
18 回目	1. 輸血管理 1) 輸血の種類 2) 輸血の取り扱い 3) 輸血時の留意点と観察	講義 デモンストレーション (芝口)
19 回目	1. 呼吸・循環を整える援助 1) 酸素吸入療法 2) 吸入	講義 (亀山)
20 回目	1. 呼吸・循環を整える援助 1) 排痰ケア 2) 吸引	講義 (亀山)
21 回目	1. 呼吸・循環を整える援助 1) 体温管理の技術 2) 末梢循環促進ケア 3) 人工呼吸療法	講義 デモンストレーション (亀山)
22 回目	1. 呼吸・循環を整える援助 1) 酸素吸入療法 2) 一時的吸引	演習 (亀山)
23 回目	終了試験	芝口・亀山
評価方法	筆記試験 100% (2回にわけて行う)	
受講生に対するメッセージ	身体の内部環境を調整する技術は、直接患者に影響する技術であるため知識がとても重要です。採血・注射・酸素吸入など知識がないと患者の安全が守れません。演習はモデルを用いて行いますが、実際の患者に行うつもりで真剣に取り組みましょう。	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学③ 基礎看護技術 II 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院	
参考書		